

世界の基幹産業を支えて76年 超硬耐摩耗工具・金型の国内トップシェア



TOP MESSAGE

76年の歴史で培った
「開発力」「技術力」「営業力」を駆使して
持続的な成長と企業価値向上を
目指してまいります。

代表取締役社長

春田善和



平素より株主の皆様にはご支援を賜りまして、心より御礼申し上げます。当社グループは今年6月6日に創業76周年を迎えました。これもひとえに、株主の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。富士ダイスグループの2025年3月期の連結業績、「中期経営計画2026」の初年度の進捗について、ご報告申し上げます。

当社グループは100年企業を目指して変化の激しい環境のもと顧客と社会の期待に応え成長し続けるため、昨年5月に2025年3月期からの3年を対象とする「中期経営計画2026」を策定し、「変化に対応できる企業体質への転換」を方針にかけ、重点施策を推進してまいりました。基幹システム刷新や自動化等による効率向上に取り組みしましたが、初年度の2025年3月期の連結業績は、自動車部品関連金型の回復遅

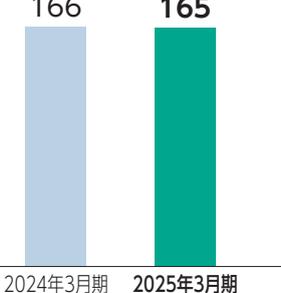
れ等に伴う売上高の減少や想定を上回る原材料等の高騰の影響を受け、各段階利益とも目標値を下回りました。

そのような厳しい経済環境ではありましたが、当社のコア技術である「粉末冶金技術」と「超精密加工技術」をもとに、次世代エネルギー分野における新製品「グリーン水素向け電極」を開発し、事業領域の拡大を図る一歩を踏み出すことができました。また、海外事業では北米やインドの展示会に初出展するなど、新たな市場を開拓するための足掛かりを築きました。2026年3月期も、さらなるチャレンジを続けてまいります。

株主の皆様には、今後も一層のご理解・ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

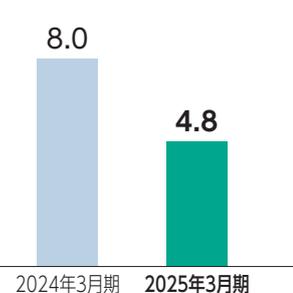
売上高

165億円
(前期比0.5% )
(億円)



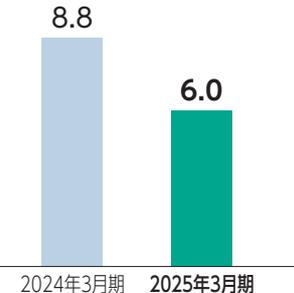
営業利益

4.8億円
(前期比39.7% )
(億円)



経常利益

6.0億円
(前期比31.6% )
(億円)



親会社株主に帰属する当期純利益

4.2億円
(前期比39.9% )
(億円)



期末配当

40円

配当方針

「中期経営計画2026」の期間における配当方針は「株主資本配当率(DOE)4%」を目標としております。2025年3月期の配当は財政状態等を勘案し、期初の予定どおり前期の1株当たり32円に対して8円、普通配当では18円増配の40円といたしました。

インドで開催された展示会に初出展



インド・ベンガルールで開催されたインド最大級の工作機械展示会「IMTEX 2025(1月23日～1月29日)」に初出展しました。インド市場の成長に注目が集まる中、当社ブースにも多くの現地企業の方々が来訪され、予想以上に案件をいただくことができました。

現在休眠中の現地子会社FUJILLOY INDIA PRIVATE LIMITEDの2026年度中の営業再開を目指し今年7月にプロジェクトを立ち上げ、市場調査の強化および知名度向上施策を推進してまいります。

グリーン水素向け電極を開発

長年培ってきた超硬合金製造技術を応用し、エネルギー関連での新製品「グリーン水素の製造装置向け電極」を開発、昨年11月に世界最大級の工作見本市「JIMTOF2024」にて発表しました。

超高压の合成技術を活かして触媒を開発し、粉末冶金技術でニッケル中に触媒を混ぜ込み電極化しました。水を電気分解するグリーン水素発生装置向け電極で、従来のニッケル製電極に比べ、電力を20%削減できる性能を持っており、超硬耐摩耗工具専業だった当社にとって新たな分野への第一歩となる製品です。2027年までに商品化を目指しております。



ESGの取り組み

Governance ガバナンス

監査等委員会設置会社への移行

当社はコーポレート・ガバナンスの機能をより一層高め、加速する外部環境の変化への対応力を強化するため、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社に移行することを2025年6月24日開催の第69回定時株主総会において決議いたしました。監査・監督機能の強化、意思決定の迅速化、取締役会の監督機能の強化・高度化などの取り組みを通じて、企業価値の向上を図り、すべてのステークホルダーのご期待に応えてまいります。

Social ソーシャル

「おおたオープンファクトリー2024」に参加

11月30日、大田区で開催される年に一度の工場見学・体験イベント「おおたオープンファクトリー2024」に参加しました。大田区下丸子に本社がある当社は、2012年に開催された第1回から参加しています。

第14回となる今回は72の工場や関連企業・団体が参加、当社も東京本社の1Fショールームを特別公開し、100名を超える地域の方々にお越しいただきました。今後も地域での知名度向上を目指してPR活動を推進してまいります。



第69回 定時株主総会決議ご通知について

本年6月24日開催の当社第69回定時株主総会の決議ご通知を当社ホームページに掲載しております。

詳しくはこちら▶



中期経営計画2026 (2025年3月期～2027年3月期)

初年度(2025年3月期)の取り組み状況

1 経営基盤の強化

- データ化の推進の取り組みとして、基幹システムを刷新
紙での管理からデータ管理に変えてペーパーレス化を進めるとともに、検索性を向上することで業務を効率化。
- 2025年1月1日付で品質保証本部を新設
安全で安定した生産体制を堅持し、高品質な製品づくりで企業価値向上を目指す。
- 社員エンゲージメントの向上を目的に、新たな福利厚生制度を導入
Eラーニングのプログラムを拡充、社員が自己研鑽できる環境を整備。
- ブランディングプロジェクトを始動、コーポレートサイトを全面リニューアル
- 初のサステナビリティレポートを発行

2 生産性向上・業務効率化

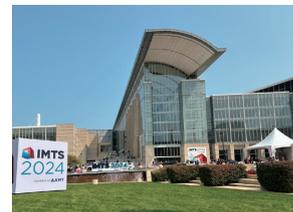
- 郡山製造所**
 - 研削加工作業に自動化ロボットを導入・本格稼働
ロボット導入による無人加工で産出量が10%向上。
 - 冶金工程の自動化ロボットが対応できる製品の範囲を広げる改修を実施
- 熊本製造所**
 - 冶金工程にCAD・CAMを駆使したNC加工機による自動加工ラインを導入
平面加工における手作業から自動加工に約60%を移管。
 - 部品どりを最適化するCAD・CAMの自動ネスティングの2025年度導入に向けたテストを実施



研削加工自動化ロボット

3 海外事業の飛躍

- 中国**
 - 光学機器関連の新規顧客を獲得
東莞の新拠点を足掛かりに、光学機器関連の新規顧客の開拓に成功、販売を拡大。
- アセアン**
 - タイは生産性が向上、輸送機器以外の製品群も拡張
 - インドネシアは、外資系企業との取引が拡大
 - マレーシアは、クアラルンプールの営業活動を強化
- 北米**
 - シカゴで開催された展示会「IMTS2024」に出展
知名度向上を図るとともに、現地に於いて市場調査を推進。
- インド**
 - 「IMTEX 2025 (インド工作機械展)」に初出展
輸出ベースでの出荷額が過去3年間で大幅に増加。



「IMTS2024」会場外観

4 脱炭素・循環型社会への貢献

- 次世代エネルギー**
 - 新製品「グリーン水素向け電極」を開発
当社のコア技術である粉末冶金技術と高圧発生技術を掛け合わせ、水素発生用触媒・電極(PME)を開発。
- 次世代自動車**
 - モーターコア金型向け新材種を開発、販売を開始
新材種【フジロイ VG51】を投入、モーターコア金型向け材種のラインナップを拡充。
- 省資源**
 - 2024年度(第8回)精密工学会ものづくり賞「最優秀賞」を受賞
省タングステン・コバルト合金のガラス成形用材料【フジロイ TR05/30】の開発および超精密加工技術の確立が評価される。
- リサイクル**
 - リサイクル事業の立ち上げを検討中
新規事業として、2027年3月期までの事業化を検討中。



フジロイ VG51

5 新規事業の確立

- 7月に新規事業の専門組織を発足
新規事業の早期実現に向けたM&Aや業務提携の実施を検討。



中期経営計画2026のコンセプト

変化に対応できる企業体質への転換

国内事業は成長の基盤(安定的に成長)、成長を牽引するのは海外事業
将来の成長基盤の育成として新事業の実現という方向性

1 経営基盤の強化

2 生産性向上・業務効率化

3 海外事業の飛躍

4 脱炭素・循環型社会への貢献

5 新規事業の確立

既存事業領域

新規事業領域

利益率向上

売上拡大

成長分野と富士ダイス

「次世代自動車」「半導体」「データセンター」

自動運転向けセンサー用光学部品、次世代光通信となる光電融合分野、半導体製造装置分野に、当社の工具・金型・素材が貢献

電動・自動走行車の内部

当社製品

光通信用コネクタ金型



データセンター



専用通信機

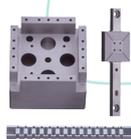
当社製品

センサー用
レンズ成形用金型



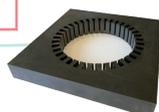
当社製品

半導体製造
装置用部品



当社製品

モーターコア製造用
打抜き金型



当社製品

電池ケース製造用
成型金型



引用元：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)「車載コンピューティング・シミュレーション技術とは」を参考に作成

数値目標(2027年3月期)

連結売上高

200 億円

営業利益

20 億円

経常利益率

10.5%
(経常利益21億円)

ROE

7.0%

当社は資本コストと株価を意識した経営の実現と中長期的な企業価値の向上を目指し、2025年3月期からの3年を対象とする「中期経営計画2026」を策定しました。「変化に対応できる企業体質への転換」を中期方針に掲げ取り組みを実施しておりますが、2025年3月期は自動車部品関連金型の回復遅れ等に伴う売上高の減少や想定を上回る原材料等の高騰の影響を受け、当初計画した業績を下回りました。今後につきましては中期経営計画で掲げた施策に取り組むとともに価格戦略の見直しも実施し、収益力の強化に努めてまいります。

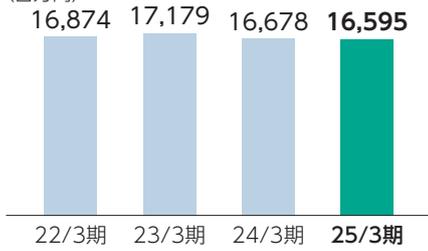
■ 売上高(億円) ● 営業利益(億円)



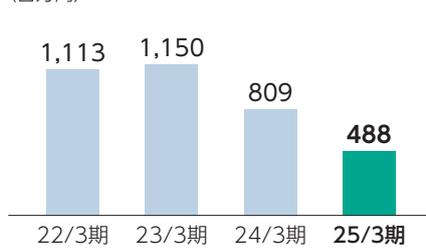
会社概要／株式の状況

連結決算データ

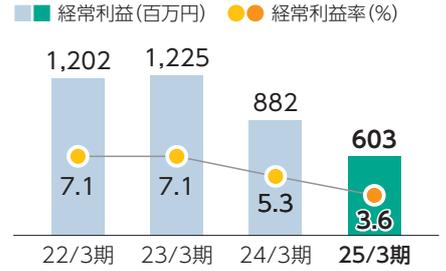
売上高 (百万円)



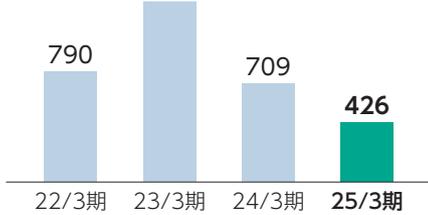
営業利益 (百万円)



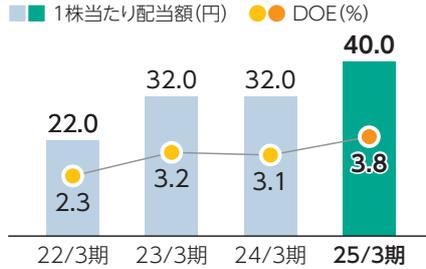
経常利益／経常利益率



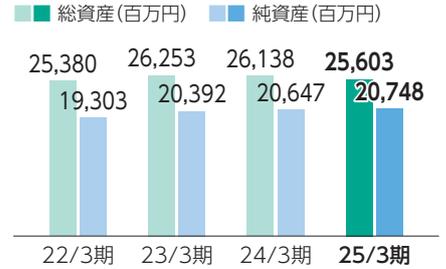
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)



1株当たり配当額／DOE



総資産／純資産



会社概要 (2025年3月31日現在)

社名 富士ダイス株式会社
創業 1949年6月6日
本社所在地 〒146-0092 東京都大田区下丸子2-17-10
資本金 164百万円
拠点 営業拠点10 生産拠点7
グループ会社 国内2社 海外5社
従業員 1,090人(連結)

株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数 80,000,000株
発行済株式総数 20,000,000株
株主数 7,500名(前年同期末比877名増)
所有者別株式分布



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会 毎事業年度終了後3ヶ月以内
株主確定基準日 毎年3月31日
剰余金の配当基準日 毎年3月31日および9月30日
株式の売買単位 100株
証券コード 6167
上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
株主名簿管理人 東京府中市日鋼町1-1
連絡先 電話 0120-232-711(通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
公告方法 電子公告により行います。ただし電子公告によること
ができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <https://www.fujidie.co.jp/>

IRカレンダー



富士ダイス株式会社

〒146-0092 東京都大田区下丸子2-17-10
TEL:03-3759-7182 <https://www.fujidie.co.jp/>



トップページ



投資家情報



本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は、当社の予想と異なることがありますので、ご承知おきください。